

出部保育園では、保育士・栄養士等職員に対する自己評価と、園長・主任保育士・副主任保育士・各責任者による保育所自己評価を行っています。

これは、厚生労働大臣が告示する『保育所保育指針』における【保育の計画及び評価】内の保育内容等の評価に示されるア 保育士等の自己評価と、イ 保育所の自己評価に基づき実施しています。

評価結果をもとに、保育の質向上に努めて参ります。

A:よくできている B:まずまずできている C:あまりできていない D:できていない

保育目標の達成	①	全職員が保育理念・方針・目標を共通理解できるよう周知徹底している。	B
	②	園の保育目標をもとに、クラス・各職員の目標が設定され達成に向けた保育実践が実現するよう適切な報告連絡相談ができている。	B
	③	能率的で合理的な組織体制がとれ、協働できる体制作りを意識した職員配置ができている。	B
保育の質	①	各職員が子ども一人ひとりと信頼関係を構築し、子どもが主体的に生活できるよう関わるができる。	B
	②	子ども一人ひとりの育ちについて理解し、個々に合わせた配慮ができる。	A
	③	職員間で連携を図り、共通認識をもって保育が実践できる。	B
	④	子どもの姿に見合った保育計画が立案でき、評価・改善を繰り返しながら見通しある保育が実践できる。	B
	⑤	保育に適切な環境を常に保つよう整理整頓を行い、安全な環境を維持できる。	B
	⑥	子どもが安全に健康で過ごせるよう安全管理に努め、食育の推進を図る。	B
保護者支援	①	子どもの育ちを家庭とともに共通理解できるよう、職員から積極的なコミュニケーションが図れている。	B
	②	保護者とともに共同して保育を実践・展開するよう、意見を取り入れ適宜改善を図ることができる。	B
	③	園の役割・責務として地域への子育て支援に積極的に関わるができる。	A
保育者としての資質能力、良識・適性及び自己管理	①	各職員が自己研鑽に励み、自身の資質向上を図ることができる。	C
	②	子どもの手本となるよう、言動に自覚をもって保育実践にあたる。	B
	③	職員同士が思いやりをもって協力できる職場である。	B
	④	各職員が保育者として健康管理に努め、清潔感ある身だしなみ・対応を心がけている。	A
	⑤	常に後進育成を意識しながら保育実践に努め、係等各役割責任を持って全うできている。	C